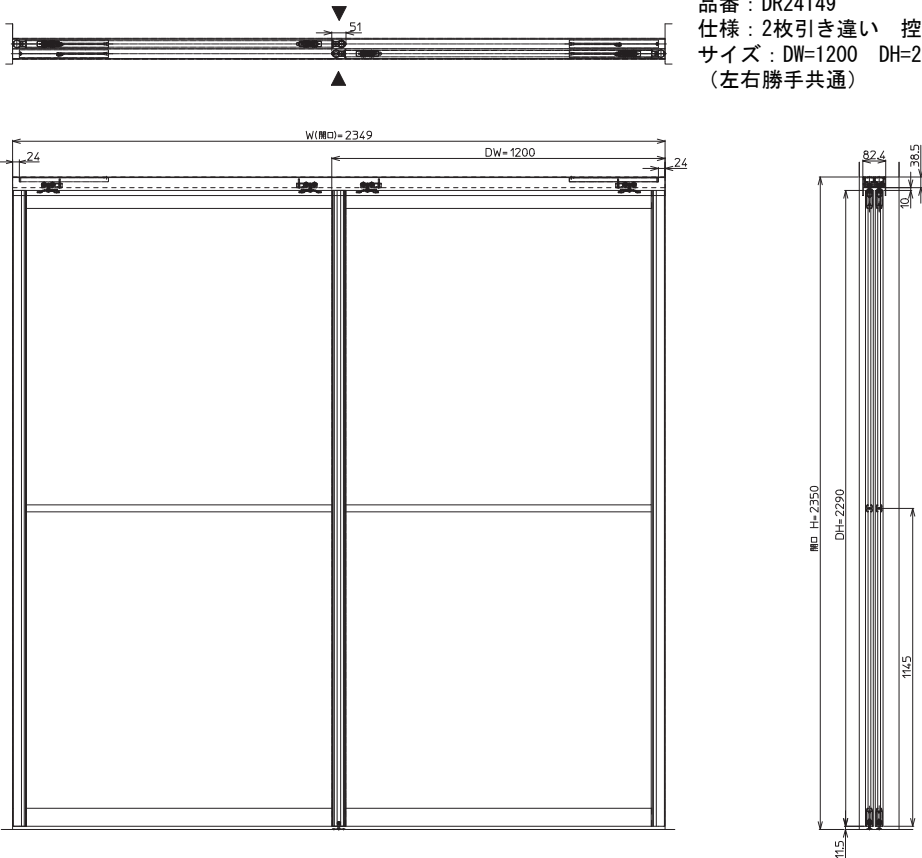




安全上の注意について

表示した注意事項は、状況によって重大な結果（障害、物損）に結びつく恐れがあります。必ずお守りください。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「人が障害を負う可能性や物的損害の発生が想定される」内容を示しています。

屋内専用 金具耐荷重：30kg以内

■使用金具一覧（組立前に必ずご確認ください。）

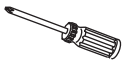
レールセット(部品はレール、幕板カバーとは別梱包です)					
幕板レール	幕板カバー	上ランナー	引き戸クローザー (HDC)	取り付けビス① (皿TP4X30)	六角スパナ
2本	2本	4個	4個	16本	10H 1本

扉セット(扉と同梱しています)		
下ガイドローラー	取り付けビス② (ナベTP4X25)	パッキン
2個	4本	4本

■使用工具



電動ドリル



プラスドライバー

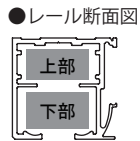
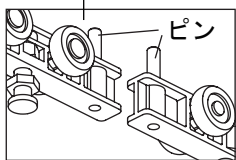
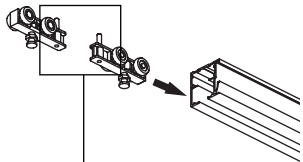
※インパクトドライバーは使用不可

※インパクトドライバーは使用不可

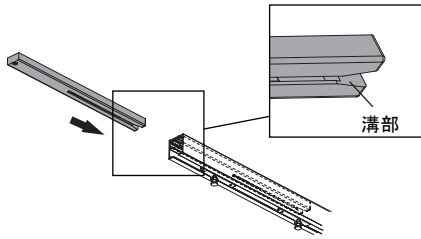
施工方法

1 レールへ金具の取り付け

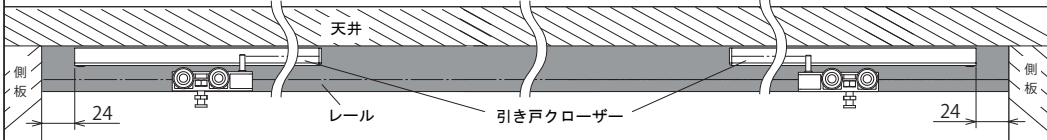
①図のように上レールの下部に上ランナーを入れます。



②図のように上レールの上部に引き戸クローザーを入れます。図の位置に引き戸クローザーを仮固定します。反対側も同様に行ってください。※クローザーの向きに注意し溝部が向かい合うように取り付けてください。

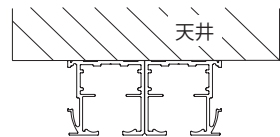
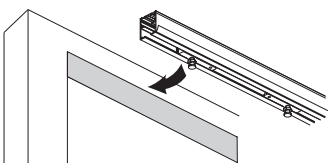


- ・ローラー、引き戸クローザーの順でレールに入れてください。
- ・上ランナーの向きに注意し、ピンが扉の内側に向くように挿入してください。
- ・下図の位置に引き戸クローザーを取り付けてください。
- ・引き戸クローザーの取り付けに電動ドライバーを使用しないでください。

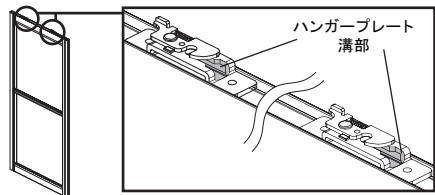
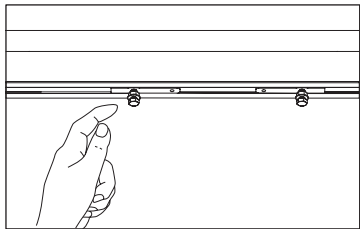


2 上レールの取り付けと金具の移動

①図のように上レールを天井または枠に取り付けビス①(皿T.P4×30)にて固定します。上レールは幕板取り付け面が外側になるよう取り付けます。



②図のように、上ランナーを扉の片側に寄せます。ハンガープレートの溝部にローラーの軸が来るようにします。

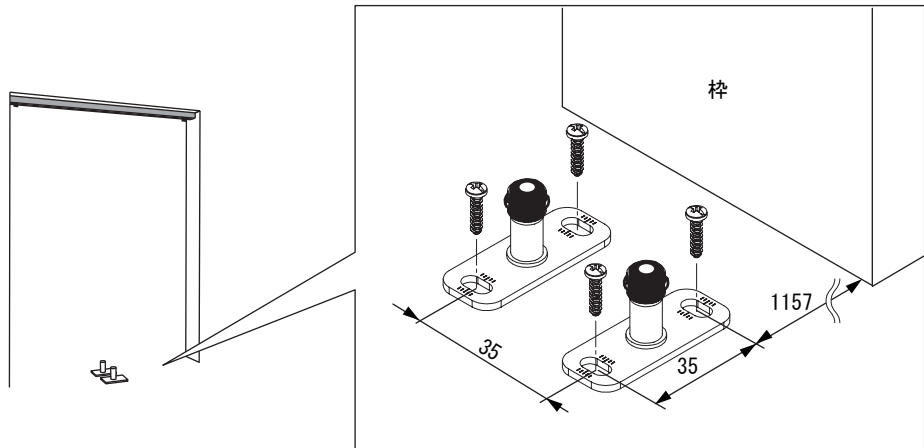


扉に取り付けられたハンガーの向きがこうになっているためです。

3 下ガイドローラーの取り付け

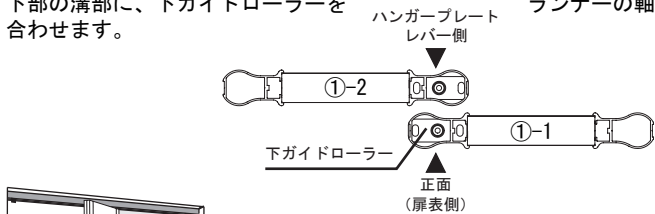
図のように、床に下ガイドローラーを取り付けビス②(ナベT.P4X25)にて固定します。

※インパクトドライバーは使用不可

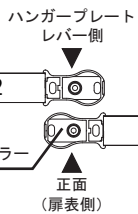


4 扉の吊り込み（取り付け）

①番号が書いてある面が扉の表側です。①-2、①-1の順で吊り込みます。扉下部の溝部に、下ガイドローラーを合わせます。

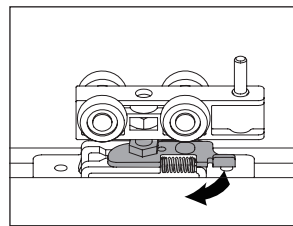
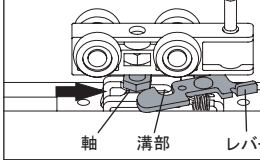
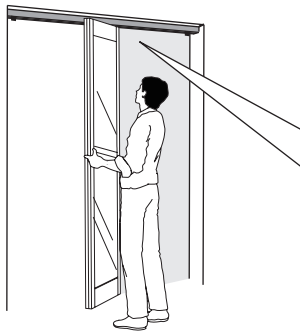


②吊り込み時に扉の表裏を確認してください。扉上部のワンタッチハンガープレートを上ランナーの軸に取り付けます。



ハンガープレートの溝部に上ランナーの軸を差し込みます。ワンタッチ式によりハンガープレートとローラーが固定されます。

※ワンタッチハンガープレートはあらかじめ扉に付いています。

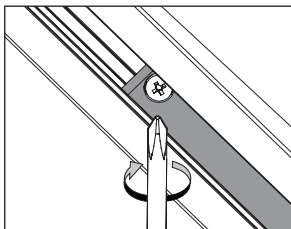
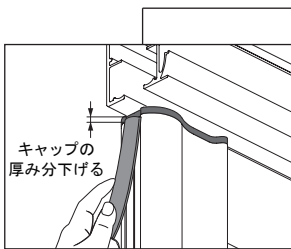


- ・扉の全荷重を下ガイドローラーに載せないでください。破損の原因になります。
- ・上ローラーの軸はロックプレートの溝部の奥まで差し込んでください。

5 パッキンの貼り付けと扉の調整、引き戸クローザーの固定

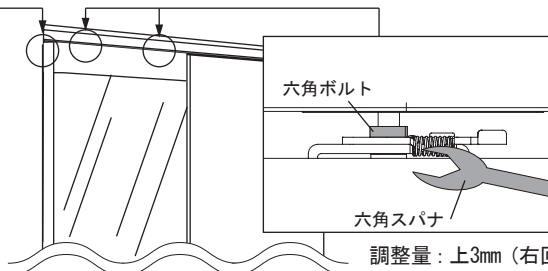
①<パッキンの貼り付け>

縦枠木口面の溝中央に貼り付けます。パッキンの長さはキャップの厚みを含みません。キャップの厚み分下げて貼り付けてください。



②<扉の調整>

上ランナーの六角ボルトをスパナ（10H）で回し扉の隙間の上下調整をしてください。



調整量：上3mm（右回し）
下3mm（左回り）

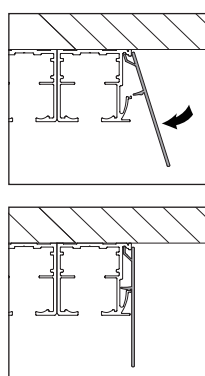
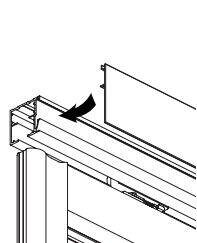
③<クローザーの固定>

引き戸クローザーを本固定します。扉の開閉の際にずれたりしないようしっかり固定してください。

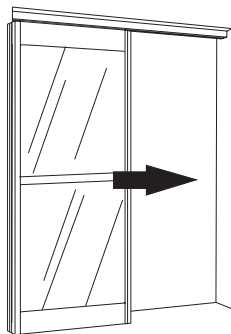
※インパクトドライバーは使用不可

6 幕板の取り付け、扉吊り込み後の確認方法

①図のように上レールに幕板カバーを取り付けます。反対側も同様に取り付けます。



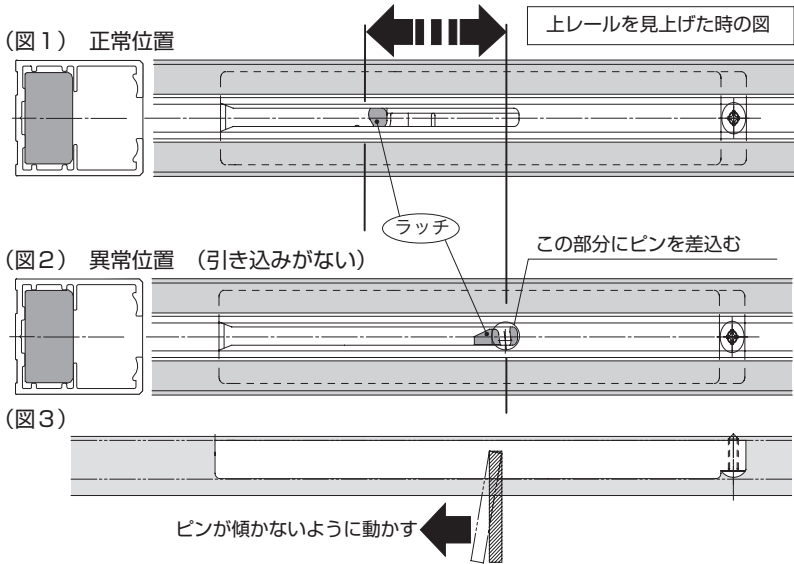
②扉の開閉を行い、クローザーが作動することを確認してください。



幕板カバーはレールの溝部にしっかりと差し込んでください。落下の原因となります。

引き戸クローザー動作確認方法

扉を引き込むためのラッチが（図1）の位置にあるか、確認して下さい。（図2）の位置にラッチがある場合、HDCは正しく作動しません。（図2）のような状態になっても、一度閉じると自動的に正常位置へ復帰する機構となっていますが、万一、復帰しない場合は、ボールペン等の先がピン状の物を使って、ラッチを正常位置へ動かして下さい。（図3）その際、ピンは垂直を保った状態で動かして下さい。ピンを傾けた状態で引くと、製品が破損する恐れがあります。



施工上の注意

 ご注意	表示した注意事項は、状況によって重大な結果（障害、物損）に結びつく恐れがあります。必ずお守りください。
	●本製品は一般住宅の室内用扉です。他の用途に使用しないで下さい。 ●扉・枠・金具に工具をぶつけたり、運搬時に引きずらないようご注意ください。傷をつける恐れがあります。 ●取付部の強度が不足している場合は落下の原因となりますので、必ず強度のある天井または枠に取り付けて下さい。 ●必ず平滑な天井または枠に取り付けて下さい。 ●天井または枠に凹凸があると製品の破損につながる恐れがあります。 ●天井または枠の水平・垂直を確認してから取り付けて下さい。扉が閉まらない原因となります。 ●扉の調整には必ず手動のドライバーを使用して下さい。電動ドライバーを使用すると破損の原因になります。 ●扉の調整で、扉を上げすぎると下部ガイドに扉がかからなくなる恐れがあります。その場合は再度高さを調整して下さい。 ●扉下部と床の隙間は8.5mm以上あけて下さい。下部ガイドと扉がこすれ作動不良の原因になります。 ●何度も貼り直しを行うとバックキンの粘着力が落ちる原因となりますのでご注意ください。

引き戸クローザー取り扱い上の注意

 ご注意	表示した注意事項は、状況によって重大な結果（障害、物損）に結びつく恐れがあります。必ずお守りください。
	●レールの中にゴミ・くず等が入らないようにして下さい。 ●上レールは傾き・ねじれ・ビスの閉めすぎによる変形が無いように取り付けて下さい。 ●油塗布はしないで下さい。 ●保管時・施工時にほこり・ゴミ・水分等がHDCの本体に入らないよう注意して下さい。侵入によりダンパー効果が失われる可能性があります。 ●分解はしないで下さい。 <条件により以下のように縦じ込み速度にバラつきが発生することがあります> ●閉める速度によるバラつき ●施工状態によるバラつき ●周囲の環境・使用環境によるバラつき ●扉重量によるバラつき <引き戸クローザーの施工上の注意> ●左右の扉の走行性の違いによるバラつき性能上の注意 ●レールの内部にくず・ゴミが入らないように取り付けてください。 ●上レールは傾きが無い様に取り付けてください。 ●上レールはねじれが無い様に取り付けてください。 ●上レールはビスの締め過ぎによる変形が無いように取り付けてください。 ●下ガイドの取り付け位置を扉の前後・高さ・寸法に合わせて取り付けてください。 ●本製品にビスの締め過ぎによる変形が無い様に取り付けてください。

使用上の注意

 ご注意	表示した注意事項は、状況によって重大な結果（障害、物損）に結びつく恐れがあります。必ずお守りください。
	●扉と枠や、扉と扉の隙間に手や指を入れないで下さい。指を挟み込んでけがをする恐れがあります。 ●扉にぶつかったりぶら下がったりしないようにして下さい。扉が破損し、けがをする恐れがあります。 ●部品に潤滑油やグリスを注さないで下さい。部品の割れや変形、変色を生じる恐れがあります。 ●ネジが緩んだ状態で使用しないで下さい。金具などに負担がかかり扉が開かなくなる恐れがあります。定期的にネジの締め直しを行って下さい。 ●この製品は耐火構造ではありませんので火の気の近くでのご使用は避けて下さい。 ●分解・改造をしないで下さい。器物損傷の原因になります。 ●扉に開閉方向以外の力を与えないで下さい。扉の破損や脱落の原因になります。 ●扉の開閉の邪魔になる場所に物を置かないで下さい。器物の損傷の恐れがあります。 ●扉の開閉は静かに行って下さい。乱暴に扱うと扉が破損したり、脱落して、けがをする恐れがあります。

お手入れ方法

1. お手入れは柔らかい布でからぶきしてください。汚れている場合は布またはスポンジに薄めた中性洗剤をつけて、汚れを落としてください。
2. 水を含んだ布で洗剤をとり、必ず乾いた布でからぶきしてください。長期間清掃しないままにしておきますと、表面に付着した汚れはしみや腐食の原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。

 ご注意	表示した注意事項は、状況によって重大な結果（障害、物損）に結びつく恐れがあります。必ずお守りください。
	●お手入れをする時は必ず軍手やゴム手袋を着用し保護して下さい。 ●アルミは水跡が残しやすいので、日ごろから柔らかい布で良く拭いて下さい。 ●傷や錆びの原因になるので、スチールタワシ、磨き粉、ベンジン、シンナーは使用しないで下さい。 ●本製品はアルミ製ですが、取り扱いによっては錆びることがありますので、ご注意ください。

保証書

下記保証書をご提示ください。故障した場合記載内容により無料交換いたします。

保証書		
品番		当社製品はお買い上げ日から1年間無料交換いたします。 保障は日本国内において有効です。
保障期間	対象：ミス・モデルノ 期間：お買い上げ日から1年	保障期間中でも以下の場合是有料交換となります。 ●取り扱い説明書および注意ラベルによらずご使用になり、故障及び損傷した場合。 ●取付、設置時の不注意または過失による故障及び損傷。 ●引き渡し後の設置場所の移動、落下などによる故障及び損傷。 ●不当な修理や改造による故障及び損傷。 ●火災、天災、地震、その他の不可抗力による故障や損傷。 ●建築媒体の強度不足、歪み、劣化、その他本体製品以外の不具合による故障や損傷。
お買い上げ日	年 月 日	
お客様	お名前 ご住所 電話（ ）	
工事店	店名 電話（ ）	（ご連絡先） 株式会社ミラタップ TEL：0120-468-838 FAX：0120-382-096

お客様でご記入をお願いいたします。（サービス依頼される際にお役に立ちます）

miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

- お客様相談センター 受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。
<https://www.miratap.co.jp>
TEL：0120-468-838 FAX:0120-382-096

